

Small Talk台本①（第2時・第4時のはじめ5分）

進め方（文科省の型）：帯活動として2時間に1回。6年はペアで伝え合うことを中心に、相手を替えて1～2分×2回。1回目のあとに中間指導（下の「ことばの補給」）を挟む。なりきりではなく**本当の気持ち・本当の出来事**を話す。

話題1 先生の持ち物はどこから？（第2時）

板書：Where is it from? It's from ～. [先生のボール・ものさし・チョークの箱を並べる]

T Hello! Look at this ball. Where is it from? Any ideas?

こんにちは！このボールを見て。どこから来たと思う？

T Let's check. ... Oh! It's from Pakistan. Wow, so far!

たしかめてみよう。…お！パキスタンからだ。うわあ、遠い！

T And this ruler. It's from Japan. Made in Japan!

こっちのものさは日本から。メイド・イン・ジャパン！

T Check your pencil or your notebook. Then tell your partner!

自分の鉛筆やノートをたしかめて、ペアに伝えてみよう。（1～2分×2回・相手を替えて）

S My eraser is from Japan. / It's from Vietnam!

（I語+It's from ～. で十分。指さしてもOK）

つまった子への助け舟：産地が見つからない子には先生の予備（チョークの箱・コピー用紙の包み）を渡す。「見つからない」も立派な発見——No label! It's a mystery! と板書して仲間に入れる。

話題2 給食に世界が来ている（第4時）

板書：It's from ～. ～ is in ～. [banana / beef / fish の絵カード+世界地図]

T Look at this banana. Where is it from?

このバナナを見て。どこから来たのかな？

T It's from Ecuador. Ecuador is in South America. Very far!

エクアドルからです。エクアドルは南アメリカ。とても遠い！

T And this orange juice. It's from Brazil. Brazil is in South America, too!

そしてこのオレンジジュース。ブラジルからです。ブラジルも南アメリカだね！

T What do you eat for lunch? Where is it from? Tell your partner.

みんなの給食は？どこから来たかな。ペアに伝えよう。（相手を替えて2回）

S Beef! It's from Australia. Australia is in Oceania.

（3文そろわなくてよい。国名だけ+地図を指すでも十分）

つまった子への助け舟：国の名前が出てこない子には地図を2か所指して Here? Or here? と選ばせる。指させたら That's right! で成立。給食の献立表に産地が書いてある学校なら、それをそのまま拡大コピーして貼る。



中間指導 1回目のあとに全体で（ことばの補給）

1回目のあとに全体で：「あいての答えに Really? / Wow, so far! / Me, too! を返せた人？」→ 地域をつけ足す一言（Vietnam is in Asia.）を1つだけ全員で声に出してから2回目へ。ふやすのは1つだけがコツ。

対話を続けることば 黒板横に掲示しておく

はじめる	Hello! / How are you?
くり返す	Soccer? Me, too!（あいての言葉をくり返す）
ひとこと感想	Nice! / Wow! / Really? / Good!
たしかめる	Pardon? / One more time, please.
さらに質問	How about you? / Why?
おわる	Thank you. / See you!

先生へ

- ・6年のSmall Talkはペアで伝え合うのが中心。先生の話は1分で切り上げ、ペアの時間を確保する
- ・話題にするのは学校にあるものと給食から。家の持ち物を題材にすると、ねだんやブランドの比べ合いに流れる
- ・産地が見つからない物も必ず出る。「わからない」を Mystery! と名づけて楽しむと、全員が安心して参加できる